

P-3 生物の不思議 ～求愛ダンス～

世界では約300～1000万種の生物が発見されており、まだ見つかっていない種類も合わせると数千万種にもなると言われています。今回はその中の生物の行動の一つである「求愛ダンス」というものがあります。今回は鳥の求愛ダンスについて紹介します。

求愛ダンスとは…

「求愛ダンス」とは、簡単に言えば動物のオスがメスの関心を引き付けるためにする行動のことです。例えば、皆さんはクジャクのオスが羽根を広げているところを見たことはありませんか？実はこの行動がメスに自分の羽根の美しさを見せて興味を引く求愛ダンスなのです。



求愛ダンスをする鳥は？

右の写真のキモマイコドリがムーンウォークのような求愛ダンスをすることで有名です。キモマイコドリはスズメ目マイコドリ科の一種で熱帯地域に生息しています。キモマイコドリはお尻の羽根を振動させて、木の枝をすべるように動く求愛ダンスをします。



次に、オウゴンヤシハタオリドリの求愛ダンスについて紹介します。右の写真は巣を作っているところです。この巣をメスにプレゼントし、気に入ってもらえたら成功です。しかし、気に入ってもらえなかった場合、壊されてしまいます。この行動はメスがオスの巣を作る能力を見ており、その優秀な能力を子どもに伝えるためだと言われています。



鳥はなぜ求愛ダンスをする？

求愛ダンスをする鳥の多くはオスであり、メスの興味を引くために必死です。そのため、オスは羽根を美しくし、自分の能力の高さをアピールするために巣をプレゼントしたりするのです。しかし、あまりにも目立ちすぎると外敵に襲われたり、エサに逃げられたりします。そのため、きれいな羽根を持つ鳥などは身を隠すのが上手いため、エサを取ったり外敵から身を守ることができるということです。こういった理由などからメスはオスの求愛ダンスを見て、オスの能力が高いかどうかを判断し、優秀な能力を子孫に受け継がせようとしていると言われています。